武雄市立西川登小学校　『校訓』 ただしく・やさしく・たくましく

学校だより　西っ子

17 号　令和8年 10 月7日
文責：校長　大宅　恒文

人とのかかわりを大切にしながら　よく遊びよく学ぶ子　～みんなで広げよう　西っ子の「わ」～

最後まで一生けんめい　がんばりぬいた運動会



１０月４日の運動会は、早朝から天気が心配されましたが、雨の影響はほとんど受けるも、大きな怪我もなく無事に終えることができました。

「西っ子団結！みんなが主役！一生けんめいがんばれ！笑顔満開　最後まで」のスローガンを掲げて行われた運動会。スローガン通りに、全員が団結し、一人一人に出番があって一人一人が輝いていて、みんな最後まで一生懸命に頑張って笑顔のはじける素敵な運動会でした。

結果は、総合優勝赤組、応援大賞赤組という結果になりましたが、運動会までの取組の姿勢や当日の頑張りは赤白ともに甲乙つけがたい内容だったと思います。本当にどちらが勝ってもおかしくない大接戦でした。

印象に残った競技・演技についてコメントします。

下学年ダンス…かわいいとかっこいいがあふれるダンスでした。曲にのって大きくキレキレに踊る姿を見て、自然と笑顔になりました。

上学年ソーラン…迫力のある勇壮な踊りでした。腰を落として、指先まで気持ちのこもった演技に、見ている側も引き込まれました。

応援合戦…赤白ともに、声の迫力と、動きの統一感が大変すばらしかったです。一人一人の精一杯の姿が伝わってきました。団長を中心によくまとまっていました。

その他の競技も、最後まであきらめない活躍が見られ、ジーンとくること、微笑ましくて笑ってしまうこと、つい力が入ってしまうこと、心が大きく揺れ動いてばかりでした。やっぱり、一生けんめいな姿は見ている人に感動を与えますね。西っ子のみなさん、すばらしい活躍でした。

競技や演技だけでなく、運動会を盛り上げる活動にも全校で取り組んだ子どもたちです。１年生は「応援うちわ」２年生は「スローガン看板」３年生は「テント飾り」４年生は「カウントダウンカレンダー」５年生は「入場門」６年生は「町民ダンス」をそれぞれ担当して、運動会に花を添えました。

さて、この約１か月間、応援を仕上げるために計画や準備を進めてきた高学年の子どもたち。特に６年生は、学校のリーダーとしてプレッシャーを感じながらも、下級生をまとめてくれました。計画性の大切さ、一人一人の責任感の大切さ、考えや意見をまとめることの大切さ、手本になることの大切さ等々、この運動会で多くのことを学んだことと思います。１か月前より表情が引き締まって自信ある姿に見えます。このかけがえのない経験を今後生かしていくのも６年生です。これからの生活においても、下級生たちのあこがれの存在として、学校を引っ張ってくれることを期待します。また、５年生以下の子どもたちも運動会で経験したことを生かして、さらなる成長を期待します。

それから、今回の「西川登町民体育大会・西川登小学校運動会」でも、前日の準備から当日の役割や片付けなど、町民の皆様にお力添えをいただきました。また、小学校だけでは担えないところを保護者の皆さん、川登中の先生や生徒さんにも支えていただきました。おかげで、子どもたちが安心して活動に取り組めました。本当にありがとうございました。日曜日は、西川登町の輪が大きく強くなった１日になりました。

皆さん、大変お疲れさまでした。




















２年生「スローガン」
４年生「カウントダウンカレンダー」



５年生「入場門」※入場門の枠は石橋体協会長さんが作ってくださいました。



３年生「テント飾り」



１年生「応援うちわ」



６年生「町民ダンス」

たけおっ子の主張

10 月 3 日(土)武雄市役所１F ホールにおいて、「たけおっ子の主張」が開催されました。西川登小からは、５年生の庭木さくらさんが出場しました。「正しいことって何？」という題で、学校に登校できなかったときに、支えてくださった「スクラム」や「かんころの家」の方々への感謝の気持ちや新学期に自然に受け入れてくれた友達や先生への安心感を発表しました。暗記した文章に、抑揚をつけて話した姿は聞いている人を感動させていました。大変すばらしい発表でした。

